

保健体育科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

1 学年 第3学年〇, 〇組 女子〇〇名

2 日時 平成22年11月〇〇日(〇)

3 場所 〇〇中学校 体育館

4 単元名 ダンス

5 単元について

○ ダンスは、個人や集団で踊り、互いに表現し交流するのが楽しい運動である。また、創作ダンスの活動には、イメージする世界を表現してなりきって踊る楽しさや喜びがある。そして仲間と動きを工夫し合って表現したり、見せ合って表現のよさを認め合ったり、感動を分かち合ったりする楽しさや喜びがある。

新学習指導要領では、ダンスが第1・2学年においては必修、第3学年においては選択となっている。さらに、第3学年では「感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表ができるようにする」ことを学習のねらいとし、「表したいテーマにふさわしいイメージをとらえること」や「個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付ける」などが示されている。このようなことから、イメージの広げ方やよりよい動きを創り出す方法を身に付けることが求められていると考えられる。

○ 本学年の生徒は、運動やスポーツに積極的に取り組む姿が見られ、体を動かすことが好きである。しかし、ダンスの経験が少なく、中でも創作ダンスについては、ほとんど経験がない。ダンスに関する事前アンケートでは、ダンスは好きではないと答えた生徒は30%であった。

現代的なリズムのダンスは視聴覚機器等の影響で親しみやすく好感を持っている。その反面、創作ダンスについては、イメージがわからず興味を示している生徒は45%である。苦手とする理由としては、「動きがわからない」「恥ずかしい」と答えている。そのために、授業の中で互いの信頼関係を築き、雰囲気づくりに重点を置き学習を行うこととする。

新体力テストの結果では、全8種目中4種目(握力・長座体前屈・50m走・立ち幅とび・ボール投げ)において全国平均を上回っているが、ダンスに必要とされる平衡性・筋持久力は劣っている。

○ 指導にあたっては、昨年度の学習内容のダンスの特性やフォークダンスを復習し、これから学習する創作ダンスの作品を見てイメージを膨らませる。

次に、ダンスの学習に自然にとけ込むことができるようにするための動きや踊りを体験する時間を設定する。現代的なリズムダンスを中心にさまざまなリズムにふれるとともに、みんなで踊る楽しさを味わわせたい。

創作ダンスは、導入しやすいように題材を身近なテーマに設定し、グループの作品に起承転結を設定する。選択した題材の特徴をとらえイメージを大切にして動きを工夫する。そしてグループで作成した動きを一つの作品として創り上げることにより、仲間との一体感や達成感を味わわせたい。

6 単元の目標

- 感じを込めて踊ったり，みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい，互いの違いや良さを認め合おうとする。
- 題材に応じた動きを高め合い工夫して踊ることができるようにする。
- リズムを特徴でとらえ，合わせて踊ったり，変化のある動きを組み合わせることで踊ることができるようにする（リズムダンス）題材からイメージした動きを表現し，グループで構成し踊ることができるようにする（創作ダンス）
- ダンスの特性，踊りの由来や表現の仕方を理解するとともに，発表や表現の仕方を理解することができるようにする。

7 評価規準

	運動への 興味・関心・意欲	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
内容の 評価規準 のまとめ りごと	ダンスの特性に関心をもち，楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また，互いの良さを認め合い，協力して練習したり発表したりしようとする。	グループの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して，練習の仕方や発表の仕方を工夫している。	自分の感じ方や工夫を率直に表現し，感じを込めて踊ったり，みんなでかわりを持って踊ったりすることができる。	ダンスの特性や学び方，歴史を理解するとともに，発表の仕方や鑑賞の仕方を理解し，知識を身に付けている。
単元の 評価規準	・思い切り動く，感じを込めて動くなどの楽しさや喜びを味わおうと進んで練習したり，発表したりしようとする。 ・互いの動きの良さ，感じ方や表現の良さなどを認め合い，動きをよりよくしようと協力しながら取り組もうとする。	・グループや自分に適した課題を持ち，その解決を目指して，学習ノート等の記録を利用して，テーマからイメージを膨らませたり，仲間とリズムに乗ったりして練習し，動きをつくり出している。 ・発表では，意見を出し合い，よいところを感じ取って成果を確かめ合っている。	・イメージにふさわしい動きや体で感じたリズムなどを率直に表現し，大きな動き，リズムに乗った動きなどで感じを込めて踊ったり，みんなで動きを合わせる，調子を合わせるなど仲間とのかかわりをもって人の伝えるように踊ることができる。	・ダンスは，個人や集団で踊り，表現したり交流したりすることが楽しい運動であるという特性や，学習の進め方，フォークダンスの由来を知っている。 ・いろいろなダンスの発表の仕方やよい動き，共感，感動するなどの鑑賞の仕方を知っている。
学習活動 の評価基準 における 具体	①ダンスを楽しんでいてためらいがなく，思い切り動く楽しさを味わおうとしている。 ②自分や仲間の動きやテーマのとらえ方の良さを認め合おうとする。 ③簡単な作品づくりに行き詰まっても，あきらめないうで作品を完成させようとする。	①テーマから思い出すことをいくつか出して，イメージを膨らませる。 ②選択したテーマで，表現したいことを，中心場面からひとまとまりになるように動き方を見つけている。 ③題材のイメージが	①イメージが人に伝わるように，体を十分に使った動きで踊ることができる。 ②題材のイメージが，見ている人に伝わる動きで踊ることができる。 ③表したいイメー	①創作ダンスは，イメージを自由に表現し踊るものであることを知っている。 ②発表会に役割や進め方を知っている。 ③どんなイメー

④発表会では、どんなイメージが強く感じられたか、どんな動きの発想が良かったかなどを認め合いながら協力しようとする。	人に伝わるような、作品の運びをつくり出している。 ④自分や仲間の表現やとらえ方の良さを仲間と見せ合いを通して確認している。	ジが伝わるように作られた作品を踊ることができる。	が強く感じられたか、どんな動きの工夫が良かったかを感じながら鑑賞する仕方を知っている。
---	--	--------------------------	---

8 指導と評価の計画

		1	2 3	4 5 6 (本時) 7	9 10
目標		学習のねらいや計画を理解する	リズムに乗り即興的に楽しく踊る	題材からイメージした動きを表現しグループで作品にする	仲間とともに踊り、作品を作ることができる
主な学習内容		学習の進め方を知る	現代的なリズムのダンス ヒップホップやサンバのリズムに乗って動く	創作ダンス 題材に対しての動きをつくりをする	発表会 作品を踊る・鑑賞する
		あいさつ・出席確認・健康観察・準備運動（縄跳び・体づくり運動）			
		・ダンスの特性を知る ・DVDを鑑賞する ・学習ノートを作成する	心も体も弾ませてダンサーになる 仲間とかかわりながら、即興的な踊りを楽しむ	題材から、表したいイメージをとらえ、動きを作る 動きの連続から、作品へ展開する。	繰り返し作品を踊る 見せ合う
		学習の振り返り・次時の確認をする			
評価	関		① ② ③		①
	思	③	① ② ③ ④		② ③ ④
	技		① ② ③		② ③
	知	①	① ② ③		③

9 本時の目標

- 仲間と踊る楽しさを味わい，互いの良さや違いを認め合おうとする。
(関心・意欲・態度)
- 題材からイメージした動きをグループで構成し，踊ることができる。(技能)

10 本時の展開 (6時間目 / 10時間中)

段階	学習内容及び学習活動	教師の支援(指導)(◆)及び評価規準, 評価方法(◎)
はじめ (15)	<p>あいさつ，出欠確認，健康観察をする。</p> <p>準備運動，補強運動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄跳びや柔軟性を高める運動等を行う。 ・グループによる発表 	<p>◆欠席者の確認と見学者へ指示を出す。</p> <p>◆運動部位を意識させて正確に行わせる。</p> <p>◆全員で協力して行わせる。</p>
なか (30)	<p>本時の学習内容を確認する。</p> <p>ダンスウォーミングアップタイムを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで作成したダンスを踊る。 <p>グループに分かれて創作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がイメージした動きを表現する。 ・個人が表現した動きをグループで表現し合う。 <p>踊りをグループで合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きを組み合わせてひとまとまりの動きで踊る。 ・踊りを見せ合う。 ・作品をみんなで踊る。 	<p>◎大きな動きをして，仲間と楽しく踊っているか。(観察)</p> <p>◎アドバイスをしあうなど，仲間と楽しく積極的にかかわっているか。(観察)</p> <p>◎浮かんできたイメージを次々と体を動かしながら表現することができるか。(観察)</p> <p>◆動きが止まり，作品づくりが進まない→一番表現したいイメージを浮かべ，リーダーや教師がヒントの動きを見せる。</p>
おわり (5)	<p>用具の片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに用具を片付ける。 <p>自己評価を行う。</p> <p>次時の課題設定を行う。</p> <p>整列・あいさつをする。</p>	<p>◆全員で協力して行わせる。</p> <p>◎本時の学習を振り返り，次時の課題を設定できているか。(学習ノート)</p> <p>◆課題設定につながるように，声かけをする。</p> <p>◆怪我人，体調不良を確認し，必要であれば，適切な処置を行う。</p>